

令和3年度

教育委員会事務の点検及び評価に関する報告書
(令和2年度事業)

鏡野町教育委員会

I はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号。以下「地教行法」という。)第26条の規定により、教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなっています。

本報告書は、令和2年度における鏡野町教育委員会の活動及び事務について点検及び評価を行い、その概括を報告するものです。

II 点検及び評価の対象

次の項目について、令和2年度の実績に基づき点検・評価を行いました。

- ①鏡野町教育委員会の活動状況
- ②鏡野町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況

III 点検及び評価

1 教育委員会の活動状況

① 教育委員会の開催

教育委員会は、定例会を毎月1回と、必要に応じて臨時会を開催しています。令和2年度は、定例会を12回、臨時会を3回開催しました。毎回全員が出席し、十分な時間をかけて審議及び協議を行いました。

日にち	主な議決・協議事項
4月8日	(臨時会) 新型コロナウイルス発生に係る臨時休校等の対応について
4月27日	鏡野町学校管理規則の一部改正について 鏡野町立学校評議員の委嘱について
5月20日	鏡野町文化財保護審議会委員の委嘱について 日上山城史跡保存整備委員の委嘱について 令和2年度5月・6月補正予算について 鏡野町学校職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正について
6月26日	鏡野町大学生等生活応援給付金給付要綱の制定について 鏡野町教育委員会事務決裁規程の一部改正について 総合教育会議協議事項について 鏡野町教職員宿舎条例改正について
7月16日	鏡野町教育委員会会議規則の一部改正について 鏡野町町費負担非常勤講師の任用等に関する要綱の廃止について 鏡野町立中学校部活動指導員設置要綱の一部改正について 令和3年度使用中学校教科用図書の採択について 鏡野町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

8月7日	(臨時会) 鏡野町上齋原文化センター条例施行規則の一部改正について 令和3年度使用中学校教科用図書の採択について
8月19日	鏡野町立学校管理規則の一部改正について 鏡野町立公民館管理規則の一部改正について 鏡野町総合文化施設条例施行規則の一部改正について 登録文化財の登録について 令和2年度学校・園訪問について 令和2年度8月・9月補正予算について
9月18日	鏡野町立学校職員服務規程の一部改正について 令和2年度教育委員会事務の点検及び評価に関する報告書について
10月20日	鏡野町立図書館条例施行規則の一部改正について 鏡野町修学旅行中止・延期経費補助金交付要綱の制定について 令和2年度学校・園訪問の結果について
11月25日	鏡野町立小学校の教育環境のあり方検討委員会設置要綱の制定について 鏡野町における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画の策定について 図書館の不審者に対する鏡野町立図書館条例施行規則第4条(入館の制限)の適用について 令和2年12月補正予算について 鏡野町立小学校の教育環境のあり方検討委員会への諮問書について
12月25日	鏡野町文化資源保存伝習館条例施行規則の一部改正について 鏡野町一時預かり事業実施要綱の一部改正について 鏡野町保育料滞納対策実施要綱の一部改正について 鏡野町時間外保育事業実施要綱(訓令)の廃止と同要綱(告示)の制定について 鏡野町立小学校の教育環境のあり方検討委員会のアンケートについて 令和2年度卒業式・令和3年度入学式について
1月20日	鏡野町学校運営協議会設置に関する規則の制定について 鏡野町教育委員会が定める様式における押印の取扱いの見直し等に伴う関係規則の整理に関する規則の制定について 鏡野町教育委員会が定める様式における押印の取扱いの見直し等に伴う関係告示の整理に関する告示の制定について 鏡野町教育委員会が定める様式における押印の取扱いの見直し等に伴う関係訓令の整理に関する訓令の制定について 鏡野町総合文化施設運営審議会委員の解嘱並びに委嘱について 鏡野町立図書館協議会委員の解嘱並びに委嘱について 日上山城史跡保存整備委員会委員の解嘱並びに委嘱について

2月25日	鏡野町教育委員会の申請書等の押印の見直しに係る関係規則の整理に関する規則の制定について 令和3年度当初予算について 令和2年度3月補正予算・最終補正予算について 令和2年度卒業式及び令和3年度入学式出席と告辞について
3月11日	(臨時会) 県費職員の任免について
3月24日	鏡野町教育委員会が定める様式における押印の取扱いの見直し等に伴う関係規則の整理に関する規則の制定について 鏡野町文化財保護管理費補助金交付要綱の一部改正について 令和3年度教育目標・基本方針・重点課題について 令和3年度図書館の開館時間(延長)について

② 総合教育会議の開催

総合教育会議は地教行法第1条の4に規定された会議で、教育大綱の策定、教育・学術・文化の振興のための重点的施策、児童・生徒の生命または身体に関する緊急措置などについて、首長と教育長が対等に協議及び調整を行うもので、必要に応じて随時開催をしています。令和2年度の開催及び内容は次のとおりです。

6月30日	社会教育施設の整備について 新しいスタイルの学習について 小学校の教育環境(あり方)について 保育園、こども園、幼稚園の保育環境について
11月11日	小学校の教育環境(あり方)について

③ 研修

例年各種研修会等に参加し識見の向上に努めています。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、多くの研修会が中止になりましたが、可能な研修会には参加するよう努めました。

11月5日	岡山県市町村教育委員会委員研修会(WEB 開催) 「非認知能力の育成について」
11月17日	美作地区市町村教育委員連絡協議会秋季研修会 「GIGA スクールとプログラミング教育について」

④ 施設訪問

所管施設の現状把握を目的に、町内の全小、中学校及び幼稚園、保育園、こども園、公民館のうちからいくつかの施設を訪問しています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら、下記のとおり施設訪問を行いました。

10月 6日	富小学校・富保育園
10月 7日	香北小学校・香南保育園・香々美小学校
10月 8日	芳野こども園・郷幼稚園

10月 9日	鶴喜小学校・鶴喜保育園
10月16日	大野小学校
10月19日	鏡野中学校・かがみの中央こども園・南小学校

2 教育委員会が管理執行する事務

① 基本的・総務的事務

教育行政重点施策の策定など教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針は、原案や資料を提出し、教育委員会で協議や審議を行っています。規則、告示及び訓令の制定、改廃は、教育委員会で審議し承認を得たのちに施行しています。教育予算は、事務局が各学校等の意見を踏まえて作成し、教育委員会で協議し、町長部局を通じて議会に上程しています。

令和2年度は、令和3年度使用中学校教科用図書について、津山教育事務所管内の教科書研究会、採択協議会の意見を参考に教育委員会で協議し採択しました。

② 人的管理に属する事務

町立小中学校教員の県費教職員の人事については、津山教育事務所と連携を図りながら、学力向上や特別な支援を要する児童生徒への対応など、学校組織強化を目指して行っています。また個々の教職員の資質・指導力向上を図るため、校内、校外における様々な研修を実施するとともに、各校と連携を図りながら学校運営に関する必要な指示、連絡、指導助言を行っています。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

(1) 学校教育

① 学力の向上

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により、臨時休業のほか、学校活動に様々な制約があった中、可能な限り児童生徒の学習保障を行うように努めました。学力向上については、「学習習慣の形成」と、「書く力・伝える力の育成」の2つの方針のもと、各校全職員で家庭学習の定着に向けた共通理解を図り、宿題提示方法の工夫や児童生徒の意欲を引き出す評価方法、考えを書いたり伝えたりする授業場面の設定、読書推進などに取り組みました。また、町で統一した連絡ノートと家庭学習スタンダードを活用しながら、保護者への啓発も行いました。また、国の GIGA スクール構想の実現に向け、児童生徒一人1台の端末整備を行いました。取組の結果、改善した項目もありますが、まだまだ課題も多くみられます。このため、引き続き家庭とも連携しながら、学習時間の確保や書く力・伝える力の育成のための取組みを確実に進めていきます。

【全国学力・学習状況調査】※正答率の全国との差

	年度	国語 A	国語 B	算数・数学 A	算数・数学 B	英語
小学校	平成 30 年度	-7.7	-3.7	-6.5	-4.5	
	令和元年度	-1.8		-1.6		
	令和2年度	-2.8		-3.1		
中学校	平成 30 年度	0.9	0.8	0.9	-1.9	
	令和元年度	0.2		-1.8		-4
	令和2年度	-1.35		-3.8		-5.9

注)1. 令和元年度は、それまでの各教科の A,B がまとめられ、一体的に問う問題形式に変更されました。中学校の英語は令和元年度から始まりました。

2. 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国学力・学習状況調査が行われなかったことから、岡山県学力・学習状況調査の結果を表示しています。全国学力・学習状況調査の対象学年が小学校6年・中学校3年であるのに対し、岡山県学力・学習状況調査は小学校3～5年生、中学校1～2年生に対して実施しています。

② 豊かな心・健やかな体の育成

令和2年度は鏡野町生徒指導推進連絡協議会を3回開催し、保こ幼小中で「よりよい集団作りと自己肯定感の育成」、「メディアコントロールの家庭への啓発」に取り組みました。

自己肯定感の育成では、各学校において教職員が情報を共有し、それぞれが活躍できる場づくりや、子ども同士が認め合う集団の雰囲気づくりなどに努めました。

スマホを含むメディアは、その使用方法が生活習慣の乱れに繋がるケースもあり、児童生徒には、メディアを禁止するのではなく望ましい使い方を伝えていくことが必要です。各校では、PTAとも連携し、家庭でのルール作りなどに取り組みました。中学校では生徒会が中心となって岡山県が実施するスマホサミットに参加し、メディアとの付き合い方などについて情報発信を行いました。

地域を巻き込んだ生徒指導については、三世代交流や学校開放などにより今後も地域と連携し、情報を共有していく必要があります。

いじめについては、積極的な認知による未然防止と早期対応に組織として取り組みました。不登校については、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、関係機関と情報を共有して、一つ一つの事案に丁寧に根気強く対応しました。その結果、不登校・長期欠席の児童生徒の数に大きな変化はありませんが、個々では登校する日が増えたり、鶴山塾に定期的に参加したりと外出する機会が増え、状態の改善が見られました。

また、学校教育課のスクールソーシャルワーカーが保健福祉課の臨床心理士と連携しながら、幼稚園、保育園、こども園、小中学校の巡回相談を行うことで、学校と園、行政、外部機関との情報共有や連携をスムーズに行うことができました。

【いじめ・長期欠席・不登校件数】※各年度3月の状況

		いじめ	長期欠席	不登校
小学校	平成30年度	4	9	3
	令和元年度	10	8	2
	令和2年度	6	10	2
中学校	平成30年度	0	16	11
	令和元年度	1	19	13
	令和2年度	1	15	9

③ 教職員の資質・指導力・組織力の向上

町教育研修会で部会ごとにテーマを決め、指導案の検討、公開授業などを通して授業研究や実践交流、情報交換を活発に行い、教職員の資質や指導力の向上を図りました。音楽部会、図画工作美術部会、特別支援部会、養護部会には幼稚園・保育園の職員も参加し、園校種間の連携につながるような研究も行いました。

中学校は、令和2年度に岡山県の指定を受け、数学科で一人の教員が複数学年の教科指導を担当する「タテ持ち方式」の研究を行う「教科指導支援事業」を実施しました。この事業では、定期的に教科会を開催したり、日常的にOJT(On-the-Job-Training)を行うことで、指導力、授業の精度、質の向上などの効果を得ることができました。このことから、令和3年度はこの取組を英語科にも広げ、実践していく予定です。

各校での講師を招請しての校内研修会や校外の研修会・研究発表会への参加は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、ほとんど実施できませんでした。

夏季の教職員全員研修会は、学校教育課スクールソーシャルワーカーによる講演と、南小学校の実践発表による、「鏡野町における合理的配慮の実践」についての研修を、感染症対策として各校園の参加人数を限定し、実施しました。

【鏡野町教育研修会開催状況】

	部会数(休部を除く)	研修会回数合計
平成30年度	15部会+2編集部	62回
令和元年度	13部会+2編集部	54回
令和2年度	14部会+2編集部	58回

④ 特別な支援

各校の状況に応じて町費講師等の加配を行い、児童・生徒の個々のニーズにあったきめ細かい支援に努めました。

「鏡野町手をつなぐ育成会」と連携した各学校の特別支援学級に対する助成や、保健福祉課、保健指導推進センターなどとの連携による各校、園の巡回相談や、教育支援委員会などを通じ、通級指導教室や特別支援学級の利用につなぎました。

【特別支援学級の状況等】

	年度	特別支援学級 児童生徒数	特別支援学級数	町費特別支援講師数
小学校	平成30年度	29	8	8
	令和元年度	36	8	8
	令和2年度	38	8	10
中学校	平成30年度	15	3	1
	令和元年度	17	3	2
	令和2年度	18	3	2

【就学前通級指導教室利用者数】※毎月の利用者数合計

平成30年度	43人
令和元年度	22人
令和2年度	27人

⑤ 安全確保と教育条件の整備

令和2年度の施設整備については、令和元年度の台風19号により被災した鶴喜小学校の屋上防水復旧工事を行いました。また、令和元年度～令和2年度の2年間かけて、小中学校、幼稚園の非構造部材耐震点検を実施しました。このほか、令和3年度に実施する鏡野中学校と南小学校の便所の洋式化と鶴喜小学校の排水配管改修工事に向けた設計を行いました。小規模な修繕についても、その都度対応し安全でより良い教育環境の整備に努めました。

児童生徒の安全については、各校園において危機管理マニュアルや防災マニュアルの作成や避難訓練、引き渡し訓練等を実施し、具体的な対応や体制づくりを行っています。

通学路の安全については、平成27年2月に策定した「鏡野町通学路交通安全プログラム」では5年に1回合同点検を実施することになってはいますが、児童生徒等に関連した大きな事故等が他の地域で発生した場合は、類似の箇所について関係部署や機関と連携して点検を行っています。令和2年度は、合同点検の実施はありませんでした。このほか、随時青色パトロールカーによる巡回や点検を行っています。

【通学路安全点検】

年度	箇所数	備考
平成29年度	32箇所	交通危険箇所点検
平成30年度	11箇所	防犯上危険箇所点検
令和元年度	15箇所	防犯上(6箇所) 交通安全上(9箇所)

(2) 社会教育

① 生涯学習の推進

生涯学習の推進については、様々な時期や場面に応じた学習機会を提供し、誰もが生涯にわたって学習するテーマを持ち、自由に選択して学ぶことができるよう中央公民館を中心に12の地区公民館を拠点として事業を行いました。それぞれの公民館では主催講座、自主講座を開催しており、町民が目的に合わせて学習をしています。

中央公民館ではコロナ禍の影響もありましたが、大集会室、講座室、各会議室や総合文化施設などを活用し主催講座7講座、自主講座19講座を開催しました。

地区公民館でもコロナ禍の中、講座・教室を開催しましたが、地域活動の文化祭・運動会・世代間の交流行事などは中止になる場合もありました。行事の企画、実施にあたっては、地域づくり協議会や地域住民が中心となって取り組むことが多く、学習活動の広がりを見せています。公民館活動の担い手のひとつである文化協会会員の多数が、鏡野地域の町民であることから、今後も引き続き町内全体の会員を増やすよう進めて参ります。

【地区公民館の講座・教室数】

	講座・教室		講座・教室		講座・教室
芳野 公民館	13	香南 公民館	15	羽出 公民館	10
大野 公民館	21	香北 公民館	8	奥津 公民館	6
小田 公民館	17	郷 公民館	18	上齋原公民館	14
中谷 公民館	13	泉 公民館	15	富 公民館	12

おおむね50歳以上の町民などを対象としたシニアスクールはコロナ禍の影響もあり2学期、3学期の開校となりましたが、週1回鏡野中学校を利用し12人が受講しました。

人権教育については、コロナ禍の中、講演会の代わりに人権問題講演冊子を作成し各戸に配付を行いました。また、教育集会所(吉原・小座・河本・薪森原)のエアコン設置工事やトイレ改修工事などを行い利用促進に努めました。

図書館は利用登録者数が1万1千人を超え、貸出密度(町民1人当たりの延べ貸出冊数)が、5.3で利用者も貸し出し冊数も県下で高い水準を保っています。蔵書の充実やより良い資料の選定と収集を図ることはもちろん、「ブックスタート事業」や「セカンドブック事業」などによる子どもの本との出会いの提供や図書館システムの更新による読書記録通帳の活用により利用者の増加を図りました。

【図書館の利用登録者数等】

年度	利用登録者数	開館日数	入館者数	貸出冊数
平成31年度 (令和元年度)	11,298人 (内訳) 町内6,577人 町外4,721人	273日	66,621人	112,397冊
令和2年度	11,615人 (内訳) 町内6,762人 町外4,853人	278日	47,668人	108,592冊

文芸振興では、万葉のみち青少年文芸選奨(現代詩・短歌・俳句・川柳の4部門)、香々美川文芸選奨(短歌・俳句・川柳の3部門)の表彰を行いました。

【文芸選奨の応募者数】

年度	万葉のみち青少年文芸選奨					香々美川文芸選奨			
	現代詩	短歌	俳句	川柳	合計	短歌	俳句	川柳	合計
平成31年度 (令和元年度)	39	102	277	102	520	22	71	43	136
令和2年度	21	128	294	83	526	17	94	65	176

芸術活動では、コロナ禍により町文化祭は中止となりましたが、OKUTSU芸術祭への助成や総合文化施設、中央公民館を利用し写真、絵画などの芸術作品の展示を行いました。今後も様々な分野の活動を支援して参ります。

施設整備については、上齋原文化センターヴァルトホールの風除室天井修繕や郷公民館の下水道接続工事、来年度以降に予定の香北公民館新築工事、泉公民館新築工事、羽出公民館改修工事や多目的公園整備事業に伴う実施設計など、今後も町民のみなさまに使いやすい施設となるよう努めて参ります。

② 青少年の健全育成

子どもたちの支援として、土曜日教育支援事業、放課後子ども教室3教室、学校支援地域本部事業などを行い、かがみのっ子表彰についてはコロナ禍の影響により各小学校を訪問し表彰式を行いました。また、令和元年7月から開始した家庭共育支援チーム「ぼちぼちの部屋」による子育て中の保護者を対象に家庭問題などの相談の機会を設けました。

【かがみのっ子表彰者数】

年度	南	大野	鶴喜	香々美	香北	奥津	富	上齋原	合計
平成31年度 (令和元年度)	39	30	22	6	4	11	3	2	117
令和2年度	48	28	18	6	1	10	3	—	114

【家庭共育支援チームへの相談件数】

年度	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計
平成31年度 (令和元年度)	—	7	5	8	20
令和2年度	3	7	8	5	23

③ 文化財の保護

文化財については、郷土博物館や奥津歴史資料館において文化財の展示や体験講座を行

い、郷土学習や文化財保護意識の向上を図り、町内の文化財の適切な保存・管理を行いました。また、平成29年度に岡山県の調査により町内の吉井川でチュウゴクオオサンショウウオの交雑種の存在が確認されたため、引き続き捕獲調査及び一時飼育・隔離飼育を行いました。(52匹を捕獲し、内8匹が交雑種)

(3) 体育振興

① 生涯スポーツの推進

生涯スポーツについては、文化スポーツセンター、B&G海洋センター、鏡野ドームを核として町内13施設でコロナ禍の中、多くの町民が快適にスポーツを楽しむことができるよう管理運営に努めました。また、スキー競技用の計時装置一式を購入しました。

スポーツ推進委員会は地区公民館と連携して、ニュースポーツの指導を行い、高齢者などへのスポーツ普及に努めました。

B&G海洋センターの水泳教室は、初心者コース、チャレンジコース、選手コース、女性スイミングコースなど、目的に応じて運営しました。

総合型地域スポーツクラブ「かがみのスポーツクラブ」は、年間を通じて太極拳や筋バランスストレッチ、ニュースポーツ教室などを開催し、参加者からは好評を得ています。

今後も、会員、各教室参加者を募るとともに、安定的な運営のために、引き続き活動を支援して参ります。

② 体育施設の管理

施設管理については、文化スポーツセンターなどの体育・文化施設を指定管理者による管理で行い、効率的な運営を行いました。また、各施設をみなさんに安全に気持ちよく利用していただけるよう、塚谷公園の駐車場からグラウンドに上がる階段への手すりの設置工事や新たな2台の物置の設置、来年度に予定の文化スポーツセンター改修・増築工事に伴う実施設計を行いました。

IV 終わりに

令和2年度の鏡野町教育委員会の事務の管理と執行状況に関する点検及び評価は上記のとおりとなりました。今後も町長部局と密接な連携を図るとともに、町民のための効果的な教育行政の展開に努めてまいります。